

陳 情 第 26 号	令 6. 10. 31 受 理
<p>(件 名)</p> <p>会派規則の公開を求めることについて</p>	
<p>(陳情の要旨)</p> <p>私たちは、鹿児島市民として、我々有権者が選挙で選んだ市議が、その有権者の負託に応じて、市議としての仕事を全うできる議会改革を強く求める。</p> <p>2024年9月27日、9月30日及び10月30日の3回の議会運営委員会を傍聴したが、議会運営の基本として「会派は全会一致の原則」、「会派メンバーは同一行動を取らなければいけない」等の発言が幾たびとなくあった。</p> <p>この「議会の常識」は我々一般人からすると「非常識」であり、今一度、本当にそのようなルールが存在するのかを問いたいと思う次第である。少なくとも我々有権者は、市議の個人名を書いて投票しているのであり、会派に対して投票した覚えはない。</p> <p>については、市議会基本条例に基づき、市民の負託を受けた市議が自らの政治信条に反することなく議員活動ができるよう、会派規則の即時公開について早急に対応いただくよう陳情する。</p>	